

大陸命第千五十三號

命令

一、別紙ノ部隊ヲ第十四軍、第三十二軍、臺灣軍及小笠原兵團戰時序列ヨリ除キ東部軍司令官ノ部下ニ入ラシム

二、小笠原兵團長及動員(編成)官總官ハ前項ノ部隊ヲ夫々伊豆七

島方面ニ派遣シ防衛總司令官ノ部下ニ入ラシムヘシ

三、豫備轉移ノ時機ハ七月七日ヲ以テトス

四、細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年七月五日

奉勅傳宣

參謀總長 東條 英 機

防衛總司令官 松 本 敏 下

第八十六師團長	伊佐一男
第四十四師團長	磯原六郎
留守第六師團長	萱嶋尚隆
留守第五師團長	長谷川美代次
第十四軍司令官	黒田重徳
小笠原兵團長	栗林忠澄
第三十二軍司令官	渡辺正夫
臺灣軍司令官	安藤利吉
西部軍司令官	下村定
東部軍司令官	藤江忠雄
南方軍總司令官	寺內壽一

別紙

東部軍司令官ノ部下ニ編入スル部隊

一 第十四重戦隊序列ヨリ除ク部隊

獨立混成第十八聯隊 (留守第六師團長)

二 第三十二重戦隊序列ヨリ除ク部隊

中迫隊第二大隊 (第八十六師團長)

三 臺灣軍戦隊序列ヨリ除ク部隊

獨立混成第十六聯隊 (第四十四師團長)

四 小笠原兵隊戦隊序列ヨリ除ク部隊

獨立混成第十七聯隊 (留守第五師團長)

戦車第二十六隊 (戦車第一師團長)

大正命第千五十七號

命令

一 第三十二重ヲ西部軍司令官ノ部下ヨリ除キ臺灣軍戦隊序列ニ編入ス

二 防衛總司令官ハ第三十二重ヲ臺灣軍司令官ノ部下ニ入ラシムヘシ

三 臺灣軍司令官ハ防衛總司令官ヨリ南國編成ニ付スル作戰任務ヲ

繼承スヘシ

四 防衛總司令官ノ防衛擔任地域ト臺灣軍作戦地域トノ境界ハ北

三十度十分ノ線トス

五 臺灣軍移ノ時機ハ七月十五日等時トス

六 細則ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

29

15

昭和十九年七月十一日

奉 勅 傳 宣

陸 軍 大 將 東 條 英 機

防 衛 總 司 令 官 松 本 洋 一

西 部 軍 司 令 官 下 村 定 雄

海 軍 司 令 官 安 藤 利 吉

第 三 十 二 軍 司 令 官 渡 邊 正 夫

大 陸 命 第 千 五 十 八 號

大正六年六月二十二日

命令

一、別紙ノ部ニテ夫々南方軍司令部ノ中ヲ南方軍兵部部長ニシテ

三十二及小笠原兵部ニシテニシラス

三、前ノ部ニテ夫々南方軍司令部ニシテニシラス

三、前ノ部ニシテニシラス

三、前ノ部ニシテニシラス

三、前ノ部ニシテニシラス

三、前ノ部ニシテニシラス

三、前ノ部ニシテニシラス

三、前ノ部ニシテニシラス

トス

軍令ニシテハ参謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年七月十三日

奉命官

参謀總長

軍令官

南方軍司令官官舎内

陸軍部司令官官舎内

近衛首相官邸内

小笠原兵衛長官官舎内

第三十二軍司令官官舎内

第二軍司令官官舎内

近衛第三相官邸内

留守第三師團長	中山	傳
留守第六師團長	董	高
留守第二十二師團長	松	上
留守第十四師團長	川	密
留守第十五師團長	坂	夫
第八十一師團長	古	慶
第八十六師團長	伊	具

別紙

一、南方軍戰團序列中ノ南方軍兵站部編成ニ編入スル部隊

第八十五兵站地區隊本部 (第八十六師團長)

二、臺灣軍戰團序列ニ編入スル部隊

獨立自動車第二十三中隊 (近衛第三師團長)

獨立自動車第二百十四中隊 (近衛第三師團長)

三、第三十二軍戰團序列ニ編入スル部隊

第四十九兵站地區隊本部 (近衛第三師團長)

獨立自動車第二百十五中隊 (近衛第三師團長)

獨立自動車第二百五十九中隊 (第四十四師團長)

獨立自動車第二百八十四中隊 (留守第六師團長)

陸上勤務部百九中隊

(留守部五十五師團長)

陸上勤務部七十一中隊

(第八十一師團長)

陸上勤務部七十二中隊

(第八十一師團長)

陸上勤務部八十三中隊

(近衛第三師團長)

特設水上勤務部百一中隊

(留守部二十師團長)

特設水上勤務部百二中隊

(留守部二十師團長)

特設水上勤務部百三中隊

(留守部二十師團長)

特設水上勤務部百四中队

(留守部二十師團長)

陸小笠原兵團戰時序列ニ編入スル部隊

獨立自動車隊二百十九中队

(第八十一師團長)

獨立自動車隊二百十六中队

(近衛第三師團長)

陸上勤務第百十二中隊

(第八十六師團長)

特設水上勤務第百五中隊

(留守第二十師團長)

「註」下段括弧内以動員管理官ヲ示ス

大陸命第千六十五號

命令

一、第二十六師團ノ第十四軍戰鬥序列ニ編入ス

ニ別紙ノ部隊ヲ第三軍、第五軍、第二十軍ノ編組及第三方面軍ノ

編組中ノ第七師團編合ヨリ除キ第十四軍、第二十七軍、第三

土軍戰鬥序列及船舶司令官ノ部下ニ編入ス

三、左ノ部隊ヲ臺灣軍戰鬥序列ニ編入ス

戰車第二十五聯隊 駐紮軍司令官管理

四、支那派遣軍總司令官、關東軍總司令官及動員管理官ハ前諸項ノ

部隊ヲ夫々南方、臺灣、南西諸島、内地及北東方面ニ派遣シ南

方軍總司令官、臺灣軍司令官、第五方面軍司令官及船舶司令官

30

35

34

ノ部下ニ入ラシムヘシ

五款屬轉移ノ時機ハ夫々第一、第二、第三項部隊ノ滿鮮文港灣出

發ノ時トス

六細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年七月十五日

奉勅傳宣

參謀總長 東條英機

南方軍總司令官 伯爵 寺 內 一 殿

關東軍總司令官 梅 澤 美治郎 殿

支那派遣軍總司令官 畑 俊六 殿

臺灣軍司令官 安 藤 利吉 殿

第三十二軍司令官 坂 垣 征四郎 殿

第二十六師團長

佐伯文郎 殿

第五方面軍司令官

樋口季一郎 殿

第二十七軍司令官

寺倉正三 殿

第十四軍司令官

無田重徳 殿

船組司令官

鈴木宗作 殿

第一方面軍司令官

山下奉文 殿

第三方面軍司令官

岡部三郎 殿

第三軍司令官

根本博 殿

第四軍司令官

西原實治 殿

第五軍司令官

清水規矩 殿

第二十軍司令官

坂西一良 殿

陸蒙軍司令官

上月良夫 殿

別紙

一、第十四軍戰團序列ニ編入スル部隊

第三軍ノ編組ヨリ除ク部隊

野戰重砲兵第二十二聯隊(四)

獨立重砲兵第四大隊(四)

第五軍ノ編組ヨリ除ク部隊

野戰重砲兵第十二聯隊(四)

二、第二十七軍戰團序列ニ編入スル部隊

第四軍ノ編組ヨリ除ク部隊

獨立速射砲第十三中隊

獨立速射砲第十四中隊

(關東軍司令官)

(關東軍司令官)

(關東軍司令官)

(關東軍司令官)

(留守第三師團長)

(留守第三師團長)

(第一師團長)

(第一師團長)

(第一師團長)

(第一師團長)

第二十軍ノ編組ヨリ除ク部隊

獨立速射砲第十七中隊

三、第三十二軍戰團序列ニ編入スル部隊

第二十軍ノ編組ヨリ除ク部隊

獨立速射砲第十八中隊

第三方面軍ノ編組ヨリ除ク部隊

獨立速射砲第二十二中隊

獨立速射砲第二十三中隊

第四方面軍ノ編組ヨリ除ク部隊

獨立工兵第五十四大隊(四)

「註」下段括弧内ハ動員又ハ編組ニ係リ示ス

(第八師團長)

(第八師團長)

(第八師團長)

(第八師團長)

(第十師團長)

(第十師團長)

(第十師團長)

(支那派遣軍總司令官)

(支那派遣軍總司令官)

大體命第千七百四號

命令

- 一、第八師團ヲ第二十軍ノ編組ヨリ除キ大本營區屬トス
 - 二、第二十四師團ヲ第三十二軍隊ニ序列ニ編入ス
 - 三、關東軍總司令官公第八師團ヲ釜山附近ニ集結スヘシ
 - 四、第八師團長ハ釜山附近ニ集結待機スヘシ
 - 五、第二十四師團長ハ南西諸島方面ニ到リ臺灣軍司令官ノ部下ニ入ルヘシ
- 大體命轉移ノ時機ハ第一項ノ部ニ在リテハ滿鮮國境通過ノ時、
 第二項ノ部ニ在リテハ九州海軍出發ノ時トス
 七、編項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年七月十八日

奉勅傳宣

參謀總長 東條 英 機

關東軍總司令官

梅 澤 美治郎 殿

第二十軍司令官

坂 西 一 良 殿

臺灣軍司令官

安 藤 利 吉 殿

第三十二軍司令官

渡 邊 正 夫 殿

第八師團長

橫 山 輝 殿

第二十四師團長

雨 宮 異 殿

第一方面軍司令官

山 下 奉 文 殿

大陸命第七十五號

命令

一、第六十六師團ヲ臺灣軍戰團序列ニ編入ス
 二、別紙ノ部隊ヲ第十四軍、臺灣五、第三十二軍、舊部軍及第三十七軍戰團序列ニ編入ス
 三、動員（編成）管理官ハ第二項ノ部隊ヲ夫々比律賓、臺灣、南西諸島及北東方面ニ派遣シ南方軍總司令官、臺灣軍司令官、防衛總司令官、及第五方面軍司令官ノ轄下ニ入ラシムヘシ
 四、隸屬轉移ノ時機ハ第一項ノ部隊ニ在リテハ其編成完結ノ時、第二項部隊ニ在リテハ本州、九州、滿鮮支港灣出發又ハ第五方面軍作戰地域到着ノ時トス

五、細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年七月二十七日

奉勅傳宣

參謀總長 梅 義治 謹

南方軍總司令官 伯備 寺 內 一 殿

臺灣軍司令官 安 利 吉 殿

防衛總司令官 松 本 王 殿 下

關東軍總司令官 山 田 乙 三 殿

東軍軍司令官 江 崎 輔 殿

中部軍司令官 飯 田 祥 二 郎 殿

西部軍司令官 下 村 定 殿

第五方面軍司令官 樋 口 幸 一 郎 殿

第十四軍司令官	黑田重徳殿
第二十七軍司令官	寺倉正三殿
第三十二軍司令官	渡邊正夫殿
第六十六師團長	北川一夫殿
留守第五師團長	長谷川美代次殿
留守第六師團長	宣崎高段殿
留守第五十四師團長	柳川悌殿

別紙

第十四軍戰鬥序列ニ編入スル部隊

獨立混成第二十六聯隊	(關東軍總司令官)
野戰高射砲第八十四大隊	(西部軍司令官)
野戰機關砲第五十三中隊	(東部軍司令官)
野戰機關砲第五十四中隊	(東部軍司令官)
野戰機關砲第五十五中隊	(東部軍司令官)
三臺灣軍戰鬥序列ニ編入スル部隊	
獨立混成第二十五聯隊	(關東軍總司令官)
野戰高射砲第八十二大隊	(中部軍司令官)
野戰高射砲第八十三大隊	(西部軍司令官)

野戰機關砲第五十六、第五十七中隊 (東部軍司令官)

野戰機關砲第五十八、第五十九中隊 (中部軍司令官)

野戰機關砲第六十、第六十一中隊 (中部軍司令官)

第六十六師團編合ニ編入スル部隊

步兵第二百四十九聯隊 (留守第五師團長)

第六十六師團速射砲隊 (留守第五十四師團長)

三 第三十二軍戰團序列ニ編入スル部隊

獨立混成第六十四旅團

野戰高射砲第七十九、第八十大隊 (東部軍司令官)

野戰高射砲第八十一大隊 (中部軍司令官)

機關砲第三百三大隊 (東部軍司令官)

機關砲第四百大隊

(中部軍司令官)

機關砲第五百大隊

(西部軍司令官)

四 西部軍司令官ノ轄下ニ入ル部隊

獨立混成第二十三聯隊

(留守第六師團長)

五 第二十七軍戰闘序列ニ編入スル部隊

野戰機關砲第六十二中隊

(中部軍司令官)

野戰機關砲第六十六、第六十七中隊

(西部軍司令官)

註 下段括弧内ハ動員又ハ編成管官ヲ示ス

大廳命第七十六號

命令

一 左ノ部隊ヲ第二十五ノ編組ヨリ隊ヲ第三十二戰闘序列ニ編入

×

野戰重砲兵第二十三聯隊

關東軍司令官管理

二 左ノ部隊ヲ第五軍ノ編組ヨリ隊ヲ東部軍司令官ノ轄下ニ入ラシ

△

獨立速射砲第二十四中隊

第二十四師團長管理

獨立速射砲第二十七中隊

第十一師團長管理

三 關東軍總司令官ハ第一、第二兵ノ部隊ヲ南西諸島及伊豆七島方

面ニ派遣シ夫々臺灣軍司令官、朝鮮總司令官ノ轄下ニ入ラシム

ヘシ

四 職 職 轉 移 ノ 時 機 ハ 第 一 ノ 第 二 項 ノ 部 隊 ノ 滿 鮮 支 港 灣 出 發 ノ 時
ス

五 細 項 ニ 關 シ テ ハ 參 謀 總 長 ヲ シ テ 指 示 セ シ ム

昭和十九年七月二十日

奉 勅 停 宣

參 謀 總 長 梅 津 美 治 郎

關 東 軍 總 司 令 官 山 田 乙 三 殿

防 衛 總 司 令 官 松 本 王 殿 下

臺 灣 軍 司 令 官 安 藤 利 吉 殿

第 一 方 面 軍 司 令 官 山 下 奉 文 殿

東 部 軍 司 令 官 藤 江 惠 輔 殿

第五軍司令官 清水規矩殿
第二十軍司令官 坂西十良殿
第三十二軍司令官 渡邊正夫殿

大連命第千八百一號

命令

一、大本營ノ企圖ハ本年後期米軍主力ノ進攻ニ對シ決戦ヲ指導シ其企圖ヲ察知スルニ在リ
國軍決戦ノ方面ヲ本土、運河區域及比島方面ト豫定シ決戦實施ノ要域及之カ發軔ハ大本營之ヲ決定ス
二、南方軍總司令官、臺灣軍司令官、防衛總司令官、第五方面軍司令官及支那派遣軍總司令官ハ夫々其任務達成ノ爲海軍ト協同シテ速ニ決戦準備ヲ整フヘシ
爾後ノ作戰指導ニ關スル大本營ノ作戰指導大體別冊ノ如シ
三、參謀總長ハ決戦實施ノ爲別ニ計畫スル處ニ準備シ航空機隊

ノ運用ニ指揮轉移ヲ含ムル之ヲ準備等ニ關シ關係官司令官ニ指示スルコトヲ特

以細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年七月二十四日

奉勅傳宣

參謀總長 梅津 美治郎

參謀 總長 梅津 美治郎

南方軍總司令官 伯耆寺 内 壽一 殿

支那派遣軍總司令官 畑 俊六 殿

防衛總司令官 松本 正 殿 下

陸軍軍司令官 安部 武吉 殿

第五方面軍司令官 山口 幸一郎 殿

命令

- 一、第六十二師團ヲ第三十二軍戰團序列ニ編入ス
- 二、別紙第一ノ部隊ヲ第三軍及第六軍ノ編組ヨリ除キ夫々臺灣軍、
第三十二軍及第二十七軍戰團序列ニ編入ス
- 三、別紙第二ノ部隊ヲ夫々第十四軍、臺灣軍、第三十二軍、第二十
七軍及第十三軍戰團序列ニ編入ス
- 四、第六十二師團長ハ南西諸島方面ニ到リ臺灣軍司令官ノ部下ニ入
ルヘシ
- 五、關東軍總司令官及編成（勳員）官理官ハ第二、第三項ノ部隊ヲ
比律賓、臺灣、南西諸島及北東方面ニ派遣シ夫々南方軍總司令

98

官、臺灣軍司令官、第五方面軍司令官ノ部下ニ入ラシムヘシ

六、鐵路轉移ノ時機ハ第一、第二、第三項部ノ本州、九州、滿鐵

支港出發ノ時又ハ第五方面軍作戦地域到着ノ時トス

但シ第三項ノ部隊中現地ニ於テ編成ニ動員スル部隊ニ在リテ

ハ其編成(動員)完結ノ時トス

七、細項ニ關シテハ參謀總長ヲシテ指示セシム

昭和十九年七月二十四日

奉勅傳宣 參謀總長 梅津美治郎

南方軍總司令官 伯節 寺内 壽一 殿

支那派遣軍總司令官 畑 俊六 殿

關東軍總司令官 山田 乙三 殿

臺灣軍司令官	安藤利吉
第一方面軍司令官	山下奉文
第三方面軍司令官	岡部直三郎
第五方面軍司令官	樋口季一郎
第三軍司令官	根本博
第六軍司令官	十川次郎
第十三軍司令官	永津佐比呂
第十四軍司令官	無田
第二十七軍司令官	寺倉止三
東部軍司令官	藤江
第三十二軍司令官	渡邊正夫

中部軍司令官	飯田
第六十二師團長	本郷
留守第二師團長	大賀
留守近衛第二師團長	物部
留守第三師團長	中山
留守第四師團長	高野
留守第七師團長	國崎
留守第五十三師團長	秋山
留守第五十四師團長	柳川
留守第五十七師團長	吉田

別 紙 第 一

一 第三軍ノ編組ヨリ除キ臺灣軍戰團序列ニ編入スル部隊

獨立遠射砲第二十九中隊 (第十二師團長)

獨立遠射砲第三十中隊 (第十二師團長)

二 第三十二軍戰團序列ニ編入スル部隊

第三軍ノ編組ヨリ除ク部隊

獨立臼砲第一聯隊 (第三軍司令官)

第六軍ノ編組ヨリ除ク部隊

獨立遠射砲第三十二中隊 (第二十三師團長)

三 第六軍ノ編組ヨリ除キ第二十七軍戰團序列ニ編入スル部隊

獨立遠射砲第三十一中隊 (第二十三師團長)

「註」下段括弧内ハ動員又ハ編成官種官ヲ示ス

別紙第二

一、第十四軍戰團序列ニ編入スル部隊

- 獨立混成第六十一旅團 (第十四軍司令官)
- 獨立速射砲第十八大隊 (第十四軍司令官)
- 獨立速射砲第十九大隊 (第十四軍司令官)
- 獨立速射砲第二十大隊 (第十四軍司令官)
- 獨立速射砲第二十三大隊 (留守第五十七師團長)
- 獨立速射砲第二十五大隊 (留守第二師團長)
- 獨立機關銃第十一大隊 (第十四軍司令官)
- 獨立機關銃第十二大隊 (第十四軍司令官)
- 獨立機關銃第十三大隊 (第十四軍司令官)
- 獨立機關銃第二十五大隊 (留守第三師團長)

112

51

二、臺灣軍戰團序列ニ編入スル部隊

- 獨立機關銃第二十六大隊 (留守第五十四師團長)
- 獨立白砲第二十一大隊 (第十四軍司令官)
- 獨立工兵第六十五大隊團 (留守第四師團長)
- 獨立機關銃第十六大隊 (臺灣軍司令官)
- 獨立機關銃第七大隊 (臺灣軍司令官)
- 獨立機關銃第八大隊 (臺灣軍司令官)
- 獨立機關銃第二十四大隊 (留守近衛第二師團長)
- 野戰重砲兵第十六聯隊 (東部軍司令官)
- 獨立工兵第六十四大隊團 (留守第五十七師團長)

三、第三十二軍戰團序列ニ編入スル部隊